

議会だより

うちこ

vol. **47**

令和5年11月
発行

下水道料金値上げ!

P3 P5 P7

7月臨時会・9月定例会

P2 ~ P3

【4年ぶりの八日市町並観月会】

モデル：にぎわう観光客

決算認定報告 P4 ~ P6

常任委員会 P7 ~ P9

一般質問(6名) P10 ~ P16



「議会だより」では全会一致で可決された議案及び、賛否の分かれた議案、討論などを抜粋して掲載します。

【議案】 報告・専決予算・人事案件以外の議案は各委員会に付託され、審査及び採決後、最終日に議決されました。産業建設厚生常任委員会での審査内容は7ページ、予算決算常任委員会での審査内容は8～9ページに掲載しています。

◆全会一致で受理・認定・可決された議案

議 認

- ◎令和5年度内子町一般会計補正予算（第7号）の専決処分の承認を求めること
- ◎令和4年度内子町一般会計歳入歳出決算の認定（予）
- ◎令和4年度内子町高等学校小田分校寄宿舎特別会計歳入歳出決算の認定（予）
- ◎令和4年度内子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定（予）
- ◎令和4年度内子町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定（予）
- ◎令和4年度内子町介護保険サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定（予）
- ◎令和4年度内子町後期高齢者医療保険事業特別会計歳入歳出決算の認定（予）
- ◎令和4年度内子町水道事業会計決算の認定（予）
- ◎令和4年度内子町下水道事業会計決算の認定（予）

条例の改正

- ◎内子町下水道条例の一部を改正する条例（産）7ページ
- ◎内子町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（産）7ページ

契 約

- ◎第47号 令和5年度内子町クリーンセンター補修工事に係る工事請負契約（産）

補正予算

- ◎令和5年度内子町一般会計補正予算（第8号）（予）8ページ
- ◎令和5年度内子町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）（予）9ページ
- ◎令和5年度内子町水道事業会計補正予算（第2号）（予）9ページ

人 事

- ◎人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

付託先	(産) 産業建設厚生常任委員会 (予) 予算決算常任委員会
-----	----------------------------------

全会一致

受理・認定
可決

◆賛否の分かれた議案

○：賛成 ×：反対 ※久保議長は本会議の表決には加わらない。

議 案 名	城戸司	塩川まゆみ	関根律之	向井一富	久保美博	森永和夫	菊地幸雄	泉浩壽	大木雄	山本徹	下野安彦	林博	山崎正史	寺岡保	議決結果
◎内子町下水道条例の一部を改正する条例（産）7ページ	○	×	×	○	※	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

討 論



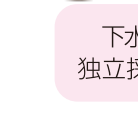
生活の基礎的インフラとして必要不可欠な下水道の使用料金の値上げ率20%は、年金や賃金などの上昇率をはるかに超えており、特に低所得者への負担感が大きい。主に事業者が対象となる30㎡以上の単価を段階的に引き上げ、事業者負担を高くするような価格体系にすべきでは。

関根 律之 議員



企業会計の問題などに理解を求めるのであれば、町民により丁寧な説明が必要である。また、この物価高騰の中の値上げはタイミングが悪いのではないか。

塩川 まゆみ 議員



下水道事業にだけ一般財源を繰り入れて運営することが町民のためになるのか。企業会計というのは、独立採算制であり、できる限りそれに見合った運営であるべきである。

山崎 正史 議員



議決結果

賛成10、反対3で可決されました。

臨時会・定例会

7月臨時会

第134回臨時会が7月7日、
第135回臨時会が
7月21日に開催されました。

物価高騰対策
第134回臨時会

一人一万円の生活応援商品券と物価高騰対策支援給付金などについて可決されました。

議案

- ◎令和5年度内子町一般会計補正予算（第5号）
- ◎令和5年度内子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
- ◎令和5年度内子町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

全会一致で可決。

第135回臨時会

議案

- ◎令和5年度内子町一般会計補正予算（第6号）

賛成10、反対2で可決。

発議

- ◎核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書

賛成7、反対5で可決。

- ◎令和5年度一般会計補正予算（第6号）に対する附帯決議

賛成8、反対4で可決。

◆賛否の分かれた議案

○：賛成 ×：反対 ※久保議長は本会議の表決には加わらない。

議 案 名	城戸司	塩川まゆみ	関根律之	向井一富	久保美博	森永和夫	菊地幸雄	泉浩壽	大木雄	山本徹	下野安彦	林博	山崎正史	寺岡保	議決結果
◎令和5年度内子町一般会計補正予算（第6号） 旧森家住宅実施設計委託等に対する補正予算	○	○	×	○	※	○	○	○	○	○	欠席	○	○	×	可決
◎核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書 6月定例会で可決した同請願の意見書	○	○	○	○	※	○	○	×	×	○	欠席	×	×	×	可決
◎令和5年度一般会計補正予算（第6号）に対する附帯決議	○	○	○	○	※	○	○	×	○	○	欠席	×	×	×	可決

CHECK!

附帯決議とは

議案を議決する際に付け加えられる議会の要望のことをいいます。法的な効果はなく、政治的に尊重されるべきものとされています。

今回の附帯決議は、旧森家住宅実施設計委託費について、今後の計画策定・実施において、情報公開と説明責任を果たし、地域住民をはじめ幅広く町民の意見を聴き、理解を得よう求めることが盛り込まれています。

9月定例会

第136回定例会が9月4日から
19日までの16日間の会期で
開催されました。

経営状況の報告、決算認定、下水道事業の条例改正についてそれぞれ受理・認定・可決されました。

4日 町長招集挨拶及び行政報告

議案提案

- 報告6件
- 決算認定9件
- 剰余金の処分2件
- 条例改正2件
- 工事請負契約1件
- 補正予算3件
- 人事案件3件
- 議決（7件）
- 議会広報常任委員会一般質問（6議員）
- 総務文教常任委員会産業建設厚生常任委員会
- 予算決算常任委員会各委員から審査報告議決（19件）

令和4年度決算審査認定!!

9月8、11、12日の3日間、令和4年度各会計の決算議案8件について、議員全員が参加する予算決算常任委員会において一般会計、特別会計（※1）、企業会計（※2）の決算審査を行い、定例会最終日19日にいずれも認定しました。
このページでは、委員会での審査の一部をお知らせします。

※1 国民健康保険事業、後期高齢者医療保険事業、介護保険事業、介護保険サービス事業、内子高等学校小田分校寄宿舎
※2 水道事業、下水道事業

一般会計歳出決算額の推移

令和4年度	107億5609万円
令和3年度	117億3547万円
令和2年度	122億3763万円
令和元年度	101億5185万円
平成30年度	99億9395万円

借入金（町債）残高の推移（一般会計）

令和4年度	77億9228万円
令和3年度	80億5244万円
令和2年度	79億9790万円

預金（基金）残高の推移

令和4年度	82億5160万円
令和3年度	78億5932万円
令和2年度	67億3664万円

下水道の維持管理は

問 過去に行った人口予測などに基づいた計画で設備容量が過大になり、維持管理費が割高になっているとしたら、一般会計から拠出する割合が高くなるのはやむを得ないのでは。

答 町長 建設費などは別にしても、維持管理費はできるだけ料金収入でまかなえるような新しい料金体系にしていきたい。

問 施設利用率30%というのは、単純に言えば3分の1の施設で済むということではないか。下水道使用料を値上げするのであれば、維持管理費が現状どおりでいいのか研究し、利用者に理解が得られるよう説明していくべきでは。

答 町長 今後、最も維持管理費が安くなる方法も検討していく必要がある。

小田分校寮の利用状況は

問 新たに建設された第5寮と、既存の寮の利用状況は。

答 小田支所 第5寮は現在、40名定員で13名利用。その他の寮は合計35名定員で23名利用している。



完成した内子高校小田分校第5寮

主な事業



電子黒板購入費
1483万円



石畳小学校耐震補強改修建築工事
1億543万円



自転車を活用した観光推進事業
E-BIKE購入費 244万円



議会議場音響映像配信設備整備
2194万円



天神放課後児童クラブ整備工事
2870万円



内子第2放課後児童クラブ整備工事
5832万円

町営バス管理運営費

問 20年以上使用しているバスもあり、シート等の破れも目立ってきているので、計画を立てて更新することは検討できないか。

答 総務課 バスの更新については、これまでバスの修理状況等を見ながら更新してきたが、今後、更新については計画的に行うよう改めたい。

障害者タクシー利用助成事業

問 利用実績が低くなっているが、利用しやすい制度に見直せないか。

答 保険福祉課 例えば、非課税世帯などに助成要件の幅を広げることや、タクシー利用助成だけに限定しないなど、見直しを検討している。

ゴミの減量

問 燃えるゴミの内訳を見ると紙・布・プラスチックが8割を占めている。再利用可能なものを分別してリサイクルすれば、ゴミ

はもっと減らせるのでは。分別をより細分化することはどうか。

答 環境政策室 プラスチックごみの分別方法などについて検討を行う。また、再資源化できるものについての啓発活動にも今後取り組んでいきたい。

町道管理

問 山間部などで町道の利用が減少することが予想されるが、廃止するということがあるのか。

答 建設デザイン課 町道は道路法という法律に基づいて管理しており、利用実態があれば廃止できない。

学校運営協議会

問 委員の人选と、保護者や地域への周知方法は。

答 学校教育課 人選については、それぞれ学校ごとに特色を出すよう学校長が中心となり進めている。委員の公表については、協議会の課題として、ホームページへの公表などを協議している。



代表監査委員
赤穂 英一



監査委員
菊地 幸雄

令和4年度 一般会計・特別会計・公営企業会計 決算審査監査委員報告 (令和5年7月24日～8月3日実施)

決算審査は、地方自治法第233条、地方公営企業法第30条及び内子町監査基準に基づき、「決算資料」等を中心に関係職員からの聴取も行い実施し、各会計の決算書及び関係調書等は予算並びに関係法令に準拠して作成され、誤りのないものと認めた。主な意見は、次のとおり。

●一般会計・特別会計 予算額に対する不用額

事業の効率的な執行による節約、競争原理を生かした入札残など、良い不用額の発生事例が多くあった。一方、補正予算対応を失念し、不用額が発生した事例もあった。事務管理の徹底により、早めの決算見込みと不用額の把握に努め、補正予算対応や将来のための基金として活用するなど、限られた財源の最大限の活用に努められた。

委託料及び工事請負費

「最少の経費で最大の効果を挙げる」という地方自治法の精神と趣旨が生かされており、競争性、透明性、経

済性を踏まえた競争入札、比較見積もりが行われていた。システム関連の業務委託契約は、ほとんどが当初入札で落札した業者との随意契約となっているが、金額の妥当性等について、決裁文書に明記されたい。抽出した工事について、書類監査と現地監査を行った結果、適正に施工されていたが、準備調査不足に起因した変更契約事例も確認された。十分な準備を行い当初設計に確実な盛り込むとともに、竣工時等の厳正な検査に努められた。

滞納

町税、国民健康保険税、貸付金、負担金、使用料等の全体の滞納は、対前年度比で1399千円の増加となっている。徴収事務は、自主財源の確保、公平な負担、行政の信頼につながるもので、過年分を含め、解消に一層努められた。また、職員の不作為による不納欠損処理とならないよう厳正に対処されたい。ウィズコロナの対策として、納税者利便の



図面を確認しながらの工事
監査

向上と行政の効率化のため、振替納税の更なる向上策に取り組まれた。

事務処理

各種事務の処理に当たっては、事務処理手順の遵守と管理者の事務管理を徹底されたい。不適切事例が発生すると処理に多大な事務量が必要となり、結果として事務量増加や行政の信頼を損なうことにもつながる。これまでの監査等で指導してきた「内部統制」(内部牽制や内部監査の充実を本年4月から導入している。必要に応じて評価リスクの見直しを行い、効果的なものとなるよう取り組まれた。

●公営企業会計 水道事業

施設の老朽化等による修繕及び更新、耐震化等多く

の課題解決に取り組む、広域的受益の均衡化、経営の効率化を図り、安心で安全な水道水の安定供給に、一層努められた。

下水道事業

低調な維持管理費の経費回収率の改善や下水道への接続率のアップに向け、使用料金の適正化を含め、取り組まれた。

●むすび

内子町は健全財政であるが、今後も厳しい地域の現状は続くと思われ、従来どおりの予算規模の確保は、年々難しくなってきた。引き続き、補助金制度の積極的な活用、基金の適正な積立と活用、必要不可欠な事業の選択、適時適切な予算配分と実施に努められた。



空気が引き締まる決算審査

▼詳しくは内子町ホームページ「監査委員事務局」をご覧ください。

ID 10601

産業建設厚生常任委員会

9月6日、本委員会に付託された議案について審査を行いました。質疑は抜粋して掲載しています。

下水道使用料20%引き 上げへ

下水道事業における独立採算に基づく、健全な経営及び今後の計画的な施設更新を進めるうえで必要となる財源確保のため、令和6年4月から下水道使用料金を平均で約20%引き上げる料金改定を行う下水道条例の改正。

問 令和4年度に一般会計繰入金1億2300万円ほど計上されているが、このうち人件費など運営に必要な経費に対して、国からの補助などはあるのか。

答 上下水道対策班

運営経費に対する補助はない。しかし、設備の耐震補強工事にあたっては、国からの補助はある。下水道事業の運営は、下水道使用料と一般会計からの繰入金で運営している。

問 下水道を利用している世帯数、事業者も含めた数は。

答 上下水道対策班

令和3年度に使用料を徴収したのは、1844件。

問 下水道を利用していない世帯への補助などはあるのか。

答 上下水道対策班

合併浄化槽の設置に対して補助がある。設置費用のおよそ半額程度になる。

問 今回の下水道料金体系の改定案は、累進性が弱められると思うが。

答 建設デザイン課長

料金改定案は下水道運営審議会において、一番妥当だという答申に基づいたもの。少量しか使わない世帯には、多く使う世帯より値上げ額は少なくなっている。

下水道使用料金比較 (単位: 円)	使用料 (1か月)		
	現行	改定後	増額
基本水量 5m	880	990	110
使用水量 超過料金 1mにつき			
5mを超え 10mまで	56	82	26
10mを超え 20mまで	160	188	28
20mを超え 30mまで	166	198	32
30mを超え 50mまで	174	211	37
50mを超え 100mまで	178	213	35
100mを超え 10mを 超えるもの	183	220	37

改正予定の料金表

委員会での採決の結果は、賛成多数で

可決

産業建設厚生常任委員会研修報告



現地研修の様子

9月29日、町内の放課後児童クラブの視察研修を行った。始めに山本こども支援課長より、放課後児童クラブについて概要説明を受けた。主な内容としては、放課後児童クラブ誕生の経緯、支援の目的や職員の資格、開所日・時間、町内の各児童クラブの概要、利用状況などであった。それを受けての主な質疑では、4年生以上の利用可能性、日割りで利用料金の請求、申込不要で利用できるのか、児童館との役割分担、文化活動、保険加入の状況、おやつの内容と利用料金、登園・降園の人数把握の状況などがあった。



今日のおやつはなにかな？

その後、町内にある4箇所の児童クラブの現地視察を行った。各児童館の職員に施設の内容等について説明を受けたほか、児童たちが元気なおやつをほおぼる様子を見ることができた。

今後は保護者や支援員のニーズを把握するための意見交換の場を設け、支援が必要な子どもたちや保護者に寄り添った行政サービスの実施に向けさらに検討を行い対応に当たりたい。



結婚新生活支援事業

370万円

年齢が30代までで、一定所得以下の新婚世帯の家賃、住宅購入費、省エネ家電購入費等に対する補助

問 40代で結婚される方も多いと思うが、年齢の幅を広げること検討できないか。

答 総務課

今回は基本的に国の事業に則って事業化している。事業を運用していく中で検討したい。

保育業務支援システム導入等委託料 55万円

問 具体的にどのような保育業務の軽減につながるのか。

答 こども支援課

保育の計画や記録、園児の登園・降園の管理、保護者との連絡がシステムの中で行うことがで

きるため、保育士の負担軽減が図られる。

新型コロナ関連費

1083万円

問 町民の健康を守るために、町は感染防止対策として、今後検査キットを配布する予定はないのか。

答 保健福祉課

新型コロナは、感染症法で5類の位置づけになり、個人の自主的な取り組みをベースとした対応となっており、現段階で検査キット配布の予定はない。

倒木処理委託費

500万円

問 年末年始の雪害による倒木処理除去として。財源は森林環境譲与税を充当。

問 今回の予算で、どの程度処理

できるのか。

答 農林振興課

はつきりわからないが、倒木のひどい場所など、まずはできる範囲で対応していきたい。



年末年始の雪害による倒木の様子

内子運動公園野球場内野整備工事 94万円

問 グ라운ドの水はけを改善するためには、ただ土を入れて締



水はけのよくない現在のグラウンド

め固めるだけでは不十分では。十分に調査をして、もっと良好なグラウンド状態にすべきでは。

答 自治・学習課

今後、十分に調査をして対応したいが、ねんりんピックが目前に迫っているため、今回はそれに備えて整備する。

介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

歳入・歳出それぞれ5657万円を追加し、総額を29億1198万円とするもの。

問 来年4月からの第9期介護保険計画では、保険料が上がる傾向か。

答 保健福祉課

年々、保険給付費は伸びてきており、第9期計画においては介護保険料が上がり予測している。

内子町水道事業会計補正予算(第2号)

鈴木配水池移設に伴う地質調査及び測量設計委託料 1620万円

問 新たな配水池は、谷を挟んで反対側になるが支障はないのか。

答 上下水道対策班

配水水圧は、配水池の高さが同じなので、同じ水圧になるため支障はない。

委員会での採決の結果は、
原案のとおり

可決

議会広報常任委員会研修報告



議会広報クリニックの様子

後半は、実際に内子町の「議会だより43号」(令和4年11月発行)を題材に、見出しの大きさ・色使い、リード文の効果的な入れ方、写真の調整方法、図表中の数字表記など具体的な内容で様々な指摘をいただいた。他町村の議会

8月29日、令和5年度町村議会議長会主催の議会広報クリニック(東京都千代田区)に参加し、「議会だより43号」について講評をいただいた。翌30日は、双日株式会社を訪問し、内子町出身の高畑誠一氏の業績について研修した。

「伝わる」誌面づくりに向けて

議会広報クリニックの講師は、自治体広報広聴研究所の金井茂樹氏。前半は、議会報作成のフレームワークと題して、「伝える」と「伝わる」を意識して、「見出し・リード文・本文の構成、図表の視認性・可読性・デザイン性などに配慮した効果的な誌面作成について学んだ。

広報誌についても、具体的な指摘があり、当委員会にとっても参考になった。研修内容は、当委員会で協議を重ね、今号よりレイアウトなどを一部変更し、リニューアルを行っている。

高畑誠一氏と内子町

双日の本社ビル26階会議室でサステナビリティ推進部の小林正幸氏を講師に、内子町出身の稀代の経済人・高畑誠一(1887〜1973)氏について研修した。

高畑氏は神戸の商社「鈴木商店」のロンドン支店長を務め、一時は三井物産を超える年商を達成した。大正11年(1922)には、日商(現在は双日)を創立し、明治・大正期の産業革命、第二次大戦後の復興と高度経済成長を通して財界で最も活躍した人のひとりだという。

また、日本におけるゴルフの草分けとしても有名で、町内の愛媛ゴルフ倶楽部のコース建設を監修した。クラブハウス内には、高畑氏のロンドン時代の写真や氏実際に使用したクラブなどが展示されているという。

小林氏は双日の歴史的資産を多くの人に知ってもらうべく、現在同社の先駆者たちを題材にした歴史マンガの制作に携わっている。

高畑氏は現・双日にもつながる鈴木商店のエースとして活躍し、同社の歴史でも重要な人物という。



高畑氏・双日(株)の歴史について研修

小林氏によれば、高畑氏と鈴木商店の物語は国宝級に値すると言いつ、高畑氏の生誕の地である内子町にも深い関心を寄せられ、何度も内子町を訪れている。

高畑誠一氏の人物伝をマンガに

参加した議員との間では、まだ活かされていない内子町の教育・観光資源の再発掘に向けて、小林氏が制作した歴史マンガを例に、高畑氏の物語を内子町との関わりを中心にマンガにしたらどうか、といった議論で盛り上がりつつあった。

内子町民が高畑氏の人物伝を大切にし、偉業を次世代に伝えていくことで、観光客のリピーターを増やし、町の発展にも寄与できるものと感じた。もしかしたら、NHKの朝ドラで取り上げられる日が来るかもしれない!?

町政を問う！

内子町ホームページ
「議会事務局」



●9月5日の本会議において、6名の議員が一般質問を行いました。

【質問通告書内容】

森永 和夫 議員	11ページ
◎アフターコロナ・ウィズコロナを見据えた内子町の観光	◎メンタルヘルス対策
下野 安彦 議員	12ページ
◎防犯灯・街灯のソーラー化の考えは	
城戸 司 議員	13ページ
◎部活動地域移行及び統廃合等	◎人口減少対策
関根 律之 議員	14ページ
◎人権・同和教育	◎子どもの人権と性教育
塩川まゆみ 議員	15ページ
◎安定ヨウ素剤の配付・服用	◎気候市民会議
◎食料安全保障	
向井 一富 議員	16ページ
◎内子の観光、内子商店街の活性化	◎子育て支援
◎移住対策	◎高齢者見守り



秋の上川地区

当記事では「一般質問」の質疑内容について、誌面スペースの都合上一部抜粋となっています。各議員の質問項目については《質問通告書の内容》のとおりです。
議会での質問並びに答弁の全文を知りたい方は、下記内子町ホームページ「内子町議会」[会議録]のページをご覧ください。
※会議録のホームページ掲載は「議会だよりうちこ」発行から約2か月後となります。ご了承ください。

<https://www.town.uchiko.ehime.jp/soshiki/16/>

アフターコロナを見据えた内子の観光を問う！



森永 和夫 議員

【キーワードは持続可能な観光】

問 観光立国推進基本計画の戦略に沿った取り組みをすべきでは。

答 計画を踏まえ、観光協会と連携し、観光振興ビジョンの策定を進めており、地域一体となった観光地、観光産業の再生、高付加価値事業に応募し、採択を受けている。

問 訪日外国人旅行消費額単価や国内旅行消費額、そして宿泊者数など具体的な数値を設定して取り組んでいるのか。

答 第二期内子町総合計画において、観光入込客数、訪日外国人観光客の入込数、宿泊数については、目標値を設定し取り組んでいる。

問 日本版持続可能な観光ガイドラインに沿った取り組みをすることが、観光地域としてのブランド化、国際競争力の向上につながるものと考えているが、所見は。

答 この指標の実現に取り組んでおり、最初のステップとして、今年度、観光マーケティング調査に取り組んでいる。また、今年度、観光庁の「持続可能な観光推進に意欲的な地域を対象とした人材育成事業」の採択を受けており、観光庁の研修プログラムに沿った人材育成にも取り組んでいる。

問 内子の観光を観光協会に任せ、民間の知恵と発想で、内子の観光をすることについて、所見は。

答 観光協会は、観光プロモーションや観光客の誘致、入込態勢に関する施策に取り組んでいる。観光振興計画についても、観光協会と協議を重ねており、観光政策を考えるうえで重要な役割を担っていただいている。

民間の知恵を生かすことは大切なことだと思っている。



客足も戻り始めた内子の町並み

【メンタルヘルス対策】

問 職員のメンタルヘルス不調による休務・休職・退職などの実態は。

答 過去3年間で、令和3年度の病気休暇等は8名、令和4年度が5名、令和5年度が6名、合計で19名が取得している。そのうち12名が復職、3名が退職、残り4名が現在の休職者等である。

問 採用時の研修は。

答 理事者、課長が、それぞれの職場の業務の状況等について3日間レクチャーし配属をさせ、現場で仕事をしてもらう状況にある。

問 職員のメンタルヘルス不調の原因は。

答 職場環境の変化による業務等への不応、家庭での悩み、そして自身の心身の健康上の問題など、さまざまな要因が絡んでメンタルの不調が引き起こされているものと分析をしている。

問 メンタルヘルス不調に対する相談体制のマニュアルは。

答 各課の中で年間3回程度、上司による面談等がある。また、それ以外に全職員を対象にして、ストレスチェックを行っている。

問 夢と希望を持って役場に就職を決めた若者が、こういったことで挫折するのは大変残念で、本人のために、内子町のためにもならないと思う。町長としてこの問題にリーダーシップを発揮すべきでは。

答 私がトップになって、そういう状況をできるだけ減らしていく。なくしていく。そういう活動、取り組みをしていきたい。

内子商店街の街路灯はいつになったらできるの？



しも の やす ひこ
下野 安彦 議員

【防犯灯・街灯について】

問 小田や五十崎、内子商店街の防犯灯や街灯の設置は誰がどのように設置し維持されているのか。

答 小田中央商店街は、独自に改修を行っている。五十崎商店街では、コミュニティ助成事業を活用して更新を行っている。天神商店街、大瀬本町商店街では、老朽化等によって管理者の方で撤去を行い、町で防犯灯を設置している。寺村商店街は今年度、地元で撤去された後、町が防犯灯を設置する予定となっている。内子町本町商店街周辺の街路灯は、昭和62年から平成元年にかけて町の補助金を受けて、内子商店会等が設置し、現在は、内子まちづくり商店街協同組合と各行政区が維持管理を行っている。

問 内子本町商店街の街灯改修が十一年以上経過しても進まないのは何故か。

答 無電柱化の協議により、同じところを2度掘るようになってくるので、無電柱化と併せて設置したいということなので、そのままの状態となっている。



内子商店街の街路灯

問 ソーラー式の照明灯導入について



安価でも明るいソーラー照明

答 価格や耐久性などを総合的に判断すると、現段階ではLED防犯灯での対応が望ましいと考えている。

問 災害等での停電の場合を考えると避難所への設置は必要ではないか。

答 避難所への設置は検討していきたい。

問 小型のソーラー式の照明器の配布や補助制度はどうか。

答 公的な施策としては、現在の防犯灯設置による対応が望ましいと考える。



明るい知清橋の照明

【橋の照明の基準は】

問 豊秋橋と知清橋とでは明るさが違うのはなぜか。

答 豊秋橋は、平成2年の設置基準に基づき、10基の照明灯を設置していた。柱の腐食により撤去して、平成19年に改定され設置基準により、橋梁の起終点部に4基の設置となった。知清橋は、平成6年の完成時に、9基の道路照明灯を設置しているが、点検の結果、柱はすべて健全と判断されたので、9基とも残している。これにより、橋梁の明るさに差が生じていると県の回答である。

部活動地域移行は生徒第一に！



き ど まも る
城戸 司 議員

【どうなる学校部活動地域移行】

問 内子町は、完全移行の方針か。

答 令和8年度から、休日・平日ともに地域移行を目指すことを協議会の中で確認している。

問 部活動地域移行の考え方に拠点校部活動を想定とあるが、協議会や意見交換会で校区外通学や統廃合といった話しは出てないか。

答 意見交換会や、連絡協議会において、具体的に中学校の統廃合、校区外通学についての話しは出てない。地域移行と学校統廃合については関連する課題であるが、現時点で学校の統廃合と部活動の地域移行は、切り離して考える必要がある。

また、部活動地域移行の基本的な考えは、現在の部活動の種目を減らすことなく、種目ごとに拠点校を設け、日々の練習などを拠点校に向き実施するが、校区外通学ではなく、移動手段の確保を検討する。

問 通う学校に無い部活動は未経験者が体験し、選択する機会が減るのではないか。

答 部活動を選択する際には、今まで同様、体験入部等ができる体制をとる必要があると考える。競技主体ではなく、スポーツを楽しむことを主体とした総合スポーツ部の新設や文化部門では美術部等の新設も検討されている。活動場所には、町が準備したバスや自転車等を使用し、それぞれの拠点校等に集合して実施する予定である。

問 子どもたちの可能性を広げるため、スポーツ能力測定会を実施している。

答 スポーツ能力測定会と同様の趣旨に基づく「えひめ愛顔のジュニアアスリート発掘事業」を実施してい



ジュニアアスリート活動内容チラシ

る。これは小学5年生から中学3年生を対象に、科学的知見に基づくさまざまな育成プログラムを実施する中、スポーツの潜在的能力を有する子どもを発掘し、適性のある競技種目を見極めるとともに、年代別強化選手を目指すよう、才能の育成・強化を行うものである。

内子町においても、各学校を通じてパンフレットを配布し、同事業の周知を行い、事業への参加促進を図っている。

【どうすれば町民が増える？】

問 姉妹町村である沖縄県宜野座村は出生率も高く、村民も増えているようだが成功事例に学び、新たに取組むことはないか。



50周年記念式典のようす

答 内子町は、県と松山市から約40km、高速道路やJRなどで約30分であり、地理的な立地条件は比較的恵まれている。

こうした立地条件については、日常の移住相談や首都圏での移住フェア等の移住相談の中で、県都松山市からの距離感や隣町の大洲市からの距離感など、地理的要因として内子町へ移譲する場合の強みととらえ、相談者に知らせている。

その他、子育て環境や教育環境、交通、住居、仕事、病院、気候、食など、相談者が求められるあらゆる情報などについても併せて伝えている。

答 宜野座村では人口が増加しているが、どの取り組みによってか明確には判断ができない。宜野座村担当者との情報交換をしながら、新たに取組みができる支援策があれば加え、人口減少対策などに効果的な施策があれば参考にしたい。

問 内子の立地条件は悪くなく、松山の郊外というところを生かしては。

「人権」と包括的性教育を



せき のり 議員 関根 律之

【自分ごととしての人権教育に】

問 今年度の人権・同和教育基本方針で重点課題とされる「子どもの人権侵害」の取り組みは。

答 子どもも大人と同じ独立した人格を持つ権利主体としてとらえ、子どもの人権尊重やその擁護に取り組んでいる。学校では、個性の尊重といじめや差別を許さない集団づくりや、児童の悩みに寄り添い、周囲との人間関係に配慮している。

問 同じく重点課題としている「性自認・性的指向の人権」の具体的取り組みは。

答 今年度は、行政職員や教職員などを対象に講演会を行った。今後も地域の人権学習会などで取り上げる

予定。また、行政文書の性別記載欄を、可能なものは廃止するよう見直す。

問 令和3年度に実施した人権に関する町民意識調査では、同和問題への関心が20代・30代で他の世代よりも低い。人権・同和教育が自分ごととしてとらえられていないのでは。

答 同和教育が進んだことにより、実体的差別はいま減少している。しかし、インターネットでは卑劣な書き込みもあり、心理的差別は残っている。子どもや若年層にも同和教育で学びを広げていきたい。

問 人権学習会などでは、受け取った側がどう感じているかフィードバックする機会が少ないのでは。学習会で、参加者が質問できる時間を増やしたり、活発に意見交換ができるワークシヨップ形式などを取り入れている。

答 県の教育大会や、地域の人権学習会などでは小グループで意見交換をやっている。今後、広げていきたい。

【図書館の常設コーナーに性教育関連の本を置いて】



思春期になってから家庭で性のお話するのはむずかしい…

問 今の子どもたちが性の情報を得るのは、友人・交際相手からのほか、インターネットのアダルトサイトからがほとんどだと性教育の研究者が述べている。アダルト動画などは、男性本位の支配や暴力的な表現が多く、これによりゆがんだ人間観が育まれてしまうという。

「包括的性教育」は、人間関係や性の多様性、ジェンダー平等など幅広く人権が学べ、ユネスコによるガイドランスは、性教育の国際的な指針に

安定ヨウ素剤、知っていますか？



しお かわ まゆみ 議員 塩川 まゆみ

【安定ヨウ素剤の配布・服用】

問 原発事故時に服用する安定ヨウ素剤は、十分な量が町内の小学校7校等に配備されているとのことであるが、配布や服用方法についての周知状況は。

答 今年度は町職員対象の学習会、12月に実施予定の内子町防災訓練や連絡会等の機会をとらえ周知・啓発に努めたいと考えている。

問 児童生徒が在校中に服用が必要な事態が起きた場合の対応は想定しているか。

答 児童生徒は保護者の迎えなどにより帰宅することになっているので、全面緊急事態段階において学校に滞在していることは少ないかもしれないが、帰宅困難な状況下など、在校時に服用が必要になった場合の対応の想定も必要だと考える。

問 滋賀県米原市は保護者に毎年安定ヨウ素剤の服用に関するチェックシートと保護者同意書を配布し、アレルギーマスクの有無や保護者の同意を事前に把握して緊急時には学校で服用する体制を構築しているが、同様の取り組みができるのではないか。



3歳児以下にはゼリーがあります

答 参考にしながら内子町でやるべきことを整理していきたい。

【気候市民会議】

問 現在進行中の気候危機について。内子町でも今年3月に「ゼロカーボンシティ宣言」を発表して野心的な目標を掲げている。市民の参画を高める取り組みとして、くじ引きなどで無作為抽出された住民が政策立案に参加する「気候市民会議」という取り組みがあり、2020年頃から国内数か所で実施されているが、内子町で開催する考えは。

答 「気候市民会議」は、多様な市民の意見を反映し、課題解決の道筋を探る大変有効な手段の一つであると認識している。先行事例を踏まえながら研究し、内子町らしい会議の実施に向けて検討していきたい。

【食料安全保障】

問 「食料安全保障」とは「すべての人が、いかなる時も、活動的で健康な生活のために、食生活上のニーズや食の嗜好に合った十分・安全な栄養のある食べ物を物理的・社会的・

なっている。子どもの性被害・性加害という重大な人権侵害を防ぐためにも、外部専門家等による包括的性教育の特別授業など、取り組みを強化できないか。

答 子どもや若者が、人生において責任ある選択をするため、知識やスキルを学ぶことは重要だ。生殖器官や妊娠の知識だけではなく、ジェンダー、人権、性の多様性、人間関係など幅広いテーマを含む包括的性教育は必要と考える。緊急課題とし、性教育を実践する学校と共有したい。

問 ここ数年で、包括的性教育の観点を入れた性教育関連の著書が多数出版されている。図書館の常設コーナーに、こうした性教育関連の本を置けないか。

答 性教育関連図書を探したいという利用者の立場を考え、常設のコーナーを設置していきたい。

【質問を終えて】

「女・子どもは黙っている」というようなところに女性や若者は帰ってこないし、入ってこない。内子町の人口減少対策に、「人権」の視点を取り入れることを、ぜひ検討していただきたい。

経済的に得られる状態」とされる。内子町における食料安全保障をどう考えるか。

答 耕作放棄地対策や優良農地の維持、何よりも農業従事者の確保と育成を喫緊の課題ととらえ、JA及び愛媛県などと連携しながら、町内の持続可能な農業推進に努めていくことが、町内における食料安全保障につながるものと考えている。

問 農水省の提唱する「食料自給率」「食料自給力指数」の内子町における数値は。

答 あくまで参考として算出した数値では、カロリーベースで35%、生産額ベースで109%。自給力指数は複雑な算出要因が必要であり把握できない。

問 町産の米や麦、芋などの農産物や乾物を備蓄する体制はあるのか。

答 備蓄食料品は常温での長期保存が可能で運搬しやすいなどの条件がある。農産物の備蓄はコストの面でも難しく町としては行っていない。個人レベルで米などを備蓄して、避難所に持ち寄って活用してもらうことはあると考える。

持続可能な町を目指して



向井 一富 議員

〔内子の観光、内子商店街の活性化〕

問 今年の内子商店街の夏祭り、笹まつりの入込数はコロナ前と比較しどうか。

答 夏のイベントの入込客数は、夏祭りが約8000人、笹まつりが2日間延べで約1万5000人、令和元年度の入込客数は、夏祭りが約7600人、笹まつりが約2万人、夏祭りはコロナ禍前と同等だが、笹まつりについては5000人ほどの減。まつりの2日目に台風の接近で天候が悪かったことが影響しているものと考えられる。

問 観光まちづくりコンサルティング事業とは。



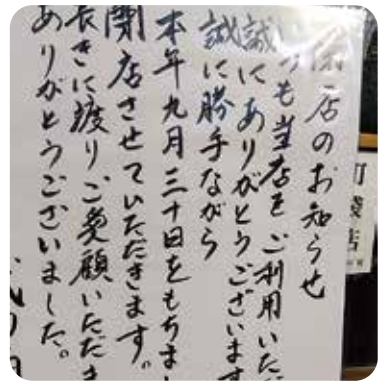
内子笹祭り

答 国土交通省地方運輸局が実施している事業で、国際競争力のある観光地づくりの推進に向けて、学識経験者や旅行者等のメンバーからなる「観光まちづくりアドバイザー会議」を設置し、地域の観光魅力を発掘、増進させるための事業である。

問 商店街を街歩き観光コースにし、新たなお土産製品開発を。

答 観光まちづくりアドバイザー会議の提案等で、現在、まち歩きコースを作っている。また、提言以降、新たに飲食店等もできており、少しずつ歩ける商店街の雰囲気が出ていて、今後も森家等を中心にさらなる発展を試みる。お土産製品開発における町の助成は、対象経費、試作研

究費、パッケージデザイン費を含めて助成金を出しており、その額は対象経費の2分の1以内で、50万円を上限としている。また、今年度内子町観光協会において「内子の目玉商品開発プロジェクト」を立ち上げ、内子のお土産や食の目玉商品づくりを推進していく。



閉店する店舗も。早急な活性化対策を！

〔子育て支援〕

問 現在、内子町の発達障がい児等の状況、支援は。

答 発達障がいには、注意欠如、多動症や、自閉スペクトラム症などの症状があり、これらの症状を持つ障がい児は、県内の療育センターなどの発達外来専門の医療機関で、発達専門医による発達障害の診断が行わ

れている。支援には、関係する課や子育て支援センターなどが連携を取りながら、巡回相談事業やペアレントトレーニング、ペアレントメンター事業、学校生活支援員の配置、経済的支援として、特別児童扶養手当の支給、社会性の発達支援として放課後等デイサービスや児童発達支援の利用による公的支援を行っている。発達障害児の症状別対象者数は把握しきれていないが、行政支援を受ける児童は、特別児童扶養手当の対象児童が34名で、放課後等デイサービスなどの利用者が28名となっている。これらの事業は、保護者の気持ちに寄り添い、関わりを持ちながら、対象児童と保護者の切れない支援につなげている。

〔移住対策〕

問 内子町に移住されてきて定着せずに転出される例があると考えるが内子町の現状は。

答 町の移住相談を介して移住された方について、移住して間もない時期には、職員や移住コーディネーターが困りごとや、心配ごとがないかなど連絡している。また、その後においても必要に応じて相談等に応じてはいるが、定期的な聞き取りやアンケートなどにより状況を調査するようなことは行っていない。

傍聴席から

内子総合窓口センター 加藤 実乃里

新人職員研修として9月定例議会一般質問を傍聴する機会をいただきました。

昨年議会開催日にモニターを付け音量を調節していたので、内子町議会の様子を見ることは出来ましたが、実際議場に足を運ぶのは初めてでした。みなさんが日頃おっしゃっている、「厳粛」・「緊張」を肌で感じました。質問される議員の方、答弁する理事者、双方真摯に議論されている姿をみて、私も日々の業務への姿勢を今一度見返そうと思いました。

一般質問では、一般質問通告書という形で事前に質問内容はわかるのですが、その質問の趣旨については記載されていません。私も窓口でお客様に色々な質問、相談をうけるのですが、なぜそのような質問、相談をされるのかお客様の目的や理由を感じ取り、それに沿ったご案内・回答等をしたいと思います。

今回の議会傍聴研修は、自分にとって学ぶことがとても多く、大変有意義な時間となりました。このような機会をいただけたことに感謝するとともに、今回の研修で得たものを業務に活かしたいです。



議会の主な活動



4日	第1回町村議会議員研修会
15日	愛媛県戦没者追悼式〈議長〉
17日	議会改革特別委員会
18日	全員協議会、産業建設厚生常任委員会
20～22日	宜野座村・内子町姉妹町村提携50周年記念事業〈議長・副議長〉
23日	八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合議会〈大洲市〉
28日	議会運営委員会
29～30日	議会広報常任委員会視察研修〈東京都〉



4～19日	内子町議会9月定例会
4日	議会広報常任委員会
5日	総務文教常任委員会、産業建設厚生常任委員会
7日～8日、11～12日	予算決算常任委員会
20日	愛媛県町村議会議長会第2回全員協議会〈議長〉
22日	議会広報常任委員会、議会改革特別委員会
28～29日	四国四県町村長・議長大会〈香川県〉〈議長〉
29日	議会広報常任委員会 産業建設厚生常任委員会視察研修〈町内学童保育〉



3～4日	議会改革特別委員会視察研修〈神奈川県〉
5～7日	愛媛県町村議会議長会議長海外視察研修〈韓国〉〈議長〉
13日	第61回四国地区町村議会議長会研修会〈徳島県〉
16日	議会広報常任委員会、議会改革特別委員会
20日	総務文教常任委員会、全員協議会、議会運営委員会
26～27日	総務文教常任委員会視察研修〈徳島県〉

新 有権者の声



新有権者となるに当たって

内子高等学校小田分校 3年 にしはら 西原 ごだい 虎大

私は、次の誕生日で18歳を迎え、新有権者となります。正直に言うと、あまり政治に興味がありません。選挙時になると街頭ポスターやテレビなどを見る程度でした。しかし、自分たちで代表となる人を選び、自分の町や国が良くなると考えれば、選挙に行くことは重要なのかなと思います。

有権者になると、出馬している候補者が本当に代表としてふさわしいかを判断する目や耳が必要になります。演説などをしっかり確認し、投票に行きたいと思います。

現在、日本で問題となっている若者の政治への関心の低さには驚きました。少子高齢化が進む社会に必要なのは、若者の柔軟な考えであるため、町全体に選挙や政治に関わる場をもう少し増やすべきだと思います。そうすることで、私のような興味の低い人も少しずつ減っていくのではないのでしょうか。18歳になるこの年に、もう少し政治に関して考えてみようと思います。

【議会だより】町民のみなさんより貴重なご意見が届いています。

前号のP5一般会計補正予算(第4号)について(修正)についての討論ですが、どの項目についての賛成反対なのか、旧森家の修正動議についての賛成反対と考えていいのでしょうか。説明不足を感じます。



(60代 女性)

QRコードで意見が出せるのは魅力的だなと思います。私自身はいつもの流れで生活しているので、中々考えが出てこない感じではありますが、希望や疑問などがお伝えしやすい環境は、とても開かれていると感じました。目安箱のようだなと思いました。



(40代 女性)

今後は、主な論点などをリード文で冒頭にわかりやすく示した後に、審議内容を記載するなど、町民にわかりやすい表現方法を心がけていきます。

議会広報常任委員会

ありがとうございます。開かれた議会を目指し、いろいろと考えております。これからも意見や要望をお待ちしております。

議会広報常任委員会

募 集 中

「議会」・「議会だよりうちこ」にご意見をお寄せください。また、「議会だよりうちこ」に掲載する季節行事や風景などの写真も募集しています。右記アドレスへ送付してください。

ご利用ください!

【QRコード】

内子町ホームページ「議会事務局」へつながります。



議長のスケジュールと
交際費を掲載中!



議会事務局メールアドレス

gikaijimukyoku@town.uchiko.ehime.jp

編集
後記

今号で研修報告した議会広報クリニックに続き、議会改革特別委員会では議会情報のインターネット配信で先進的な取り組みを行っている神奈川県開成町を視察研修した。今後は、町民に情報が届くまで約2か月かかる「議会だより」だけでなく、時間を大幅に短縮できる議会ホームページでの情報発信の充実も進めていきたい。(関根 律之)

【議会広報常任委員会】

委員長 / 城戸 司
副委員長 / 関根 律之
委員 / 山崎 正史
委員 / 泉 浩壽
委員 / 森永 和夫
委員 / 塩川まゆみ

次の定例会は **12月4日(月)** 開会予定です。